



花まるたより

2024
105

Hanamaru
Monthly
Newsletter



2024年5月

一人の母

とある勉強会で、百年以上の長きに渡って生き残っている企業の共通項は「公共性」であると学びました。単に利益を追求するだけではなく、社会的に必要なことなどに普段から継続的かつ献身的に取り組んでいることが、小さな「信頼」として積みあがっていく。そして、どんな企業にも等しく起こる景気や好不調の「波の底」のときに、「あの会社は残してあげなければ」というような周囲の応援の形になって生き残りに寄与するといふものです。

なるほどと納得しましたし、大谷選手の手事件発覚後の流れを見ていて、ああ個人も同じなんだと感じました。なぜそんな大金を他人の口座から送金できたのかという疑問を土台に、大谷選手自身にも（本当は彼も知っていたのではないかと）疑いの目が向けられかけたのですが、いつのまにか雲散霧消しました。旧来のマスメディアはもろろん、ネット上も、誰かを吊るしあげて叩きのめそうという悪意や攻撃性に満ちているし、疑惑の段階でたちまちその大波に飲まれて社会的に抹殺までされてしまっケースをいくつも見てきました。しかし大谷選手については「そんなわけないでしょう」と大多数が思ったし、調査機関の

発表も、どこか彼のことは守らねばとでもいう好意に満ちたものでした。

それは、大谷選手が普段から「ゴミ拾い」を基本行動にしていることや、グループを全国の小学校に寄贈するなどの公共的な活動をおこなってきたから、一言で言えば「立派な人だな」と誰もが思う行動を積み重ねてきたからでしょう。見習いたいものです。

話は変わって、この花まるだよりのページ下にあるタカタコのことです。花まる学習会には大勢の教室長がいるのですが、彼ら一人ひとりの魅力をどうにか伝えられないかという問題意識から始まったものです。そして、全社員ともれなく話を聞ける機会にもなるから私がやろう、それは「高濱がおこなう他己紹介」とでも言っべきものだね、じゃあ「タカタコ」だとなりました。各年度にテーマがあります。初年度の「高濱から見た本人の特徴」から始まり、昨年度は「各々の人生でのちょっと恥づかしいエピソード」で、今年度は「私の母」にしました。人を採用する側の長年の経験で、母親を語ってもらうとある程度人柄がわかる面があり、教室長がどういいうちなのかということが伝わり、現在母親と

して頑張っておられる保護者のみなさまにも参考になることがあるのではないかと感じたからです。

そして、一つの仕掛けをしました。私から取材されるにあたって、自身のお母さまに「どういう人生だったか」「子育てをどうやってきたか、どう感じたか」などについて、あらかじめインタビューしておいてもらうということです。

その目的の一つは「ちゃんと答えられるように、聞いておく」ということです。隠れ目的としては親子の幸せを願ったということがあります。

中学生くらいからあとと思春期ということで、親との会話を遠ざけることもあるし、生活上必要な話はするけれど、親がどういいう人生を歩んできたかとか、子育てをどう感じたかということなどについて、子としてちゃんと聞く機会は、案外少なかったのではないかと、そしてそうであるならば、ちゃんと話しておくことは、お互いに理解を深められるし幸せなことではないかと考えたのです。

実はこれには、私の反省があります。母を亡くして3年経ちますが、全身で甘え頼

『おうち性教育をはじめます
一番やさしい！ 防犯・SEX・命の伝え方』

高濱の本棚

フクチ マミ / 村瀬 幸浩 著
(KADOKAWA)

令和の今日においても、親たちの自信がないことの一つである性教育。これも文化因習との闘いで、かつて「寝た子を起こすな」と不快感を表す人も多かった。しかしスマホ時代に、どれだけ膨大な情報が手に入るかを直視すれば、小学生時代から子どもたちは「起きて」しまっていることは確かだ。本書は、子どもたちの現場をよく知る専門家によって書かれた、バランスの取れた良質な参考書である。続編の思春期編も含めて、成長時期に合わせて頼ればよいだろう。

花まるだよりの 2024年5月号
(令和6年5月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱 正伸
企画・編集 久慈 葉津紀・生井 ちま
編集 金井彩・清田 奈甫
坂田翔・高橋 奈穂・平山 真康
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社



るだけだった9歳くらいまでは、自分が五感で感じるさまざまなことを認知し理解することで日々精いっぱい、母がたまに話す幼い頃のこと（長崎の原爆の雲を見たとか）は少々記憶にある程度です。思春期以降はそもそも会話が減り、高校で下宿生活になり、やがて上京と、ゆっくり話す機会はないまま、とうとう葬儀まで至ってしまいました。そして通夜の夜に一緒に泊まった叔父叔母の二人が、母が幼い頃から子分たちを率いた強面だったこと、また地方から熊本高校を受けられるくらい学業優秀であったこと、しかし経済的な理由と、女性はずっと手に職をといて祖父の意向もあり、高校進学をあきらめて看護師の道を選んだこと等々、たくさんのお話を語ってくれました。そのときに、ああもつとたくさん人生の出来事や感じてきたこと、思ったことを、ちゃんと聞いておけばよかったなと後悔したのです。

そして私と話す前の日までに自分の母にインタビューしてもらうことを社員たちに頼んで、各タカコノ聞き取りを始めました。やってみて感じたことは、想像した以上にこれは良い企画だったぞということですね。

第一に、Zoom画面に出てくる教室長たちが、「はい、母にインタビューしました」と言いながらはにかみ幸せそうだったことです。「いままで聞いたことのない話を聞

けました」「自分の知っている母と青春時代の母が全然違っていて驚きました」「軽く聞いただけなのに、母ったらA4五枚の自史と私への遺言としか言えない言葉を書き記して渡してくれたんですよ」などなど、カラフルで濃密な親子のひとときを持ってたことが伝わってきました。

第二に、実にいろいろな子育てがあるのだなと改めて痛感したこと。まずはどのお母さんもおかれた状況で奮闘し頑張りを抜いたことが伝わり胸が熱くなりました。一方、同じ会社の社員であるなら母たちにも共通する傾向などがありそうなのですが、40人くらいに話を聞いた時点ですでに極めて多様。溺愛の手出し口出し組もいれば、放置に近い母もいるし、たまたま恐ろしかった母、いつもいつも満面の笑みの母、それぞれなのです。本当にそれぞれ。私が普段「これこそが一番問題」と言ってきた過保護系もいるのですが、まあ仕上がりはみんな一人前の社員になれている。ただし、たった一つ深い深いところで「お母さんは私のことが大事なんだな」と伝わっていることだけは共通していたのです。

夢のような笑顔だけの母は存在しない。それどころか、NG行動やNGワードと言われることも、ついやらかしてしまうのがごく普通の「母あるある」である。しかしそこに「とはいえ、お母さんが私をかわいくないわけがない」という深い愛への確信

さえあれば人は育つという証明を見せつけられた気がしました。

そして私の心に見えたのは、親子の絆のイメージです。どんな人にもたった一人の母がいる。母は子を想い、その想いを感じ見上げている子がいる。インタビューを重ねるにつれ、その太くて強い想いの絆がクッキリと私の心に見えたのです。時を経て子の役割から親の役割へと歴史のバトンを渡していくなかで、保護者のみなさんはいまは親の想いと役割に没頭されているわけですが、少しの時間を子どもたちの立場としてご自身の親御さんの人生を聞くことにあててみてはいかがでしょうか。

私のようにすでに亡くなってしまっているという場合は、まわりの方々にどんな人間でしかか尋ねてみてはどうでしょうか。新しく知ることもあるだろうし、お母さまも空から喜んでくれると思います。

花まる学習会 高濱正伸

新刊情報

『こそだてえほん はじめての「よのなかルールブック」』

高濱正伸(花まる学習会代表) 監修 林ユミ 絵
(日本図書センター)



シリーズ累計40万部突破のベストセラーシリーズに、待望の【お母さん・お父さん編】が登場！「こそだて」と向き合うために覚えておきたい42の習慣を紹介。子どもに対する振る舞いだけでなく、親としてのありようについても、幅広く取り上げています。「親はどんなことを心がけたらいい？」……そんなお父さん・お母さんを応援する絵本です。いましてか味わえない子どもとともにある毎日を楽しめますように！

こそだてのヒントになる
こんなルールが載っています

- 「こそだてに正解はない」と知る
- 「なにをするか」ではなく、「なにをしないか」を見きわめる
- 子どもの「好き」を応援する
- ユーモアをたいせつに
- 「この子はこの子のままでいい」と信じる
- しっかり失敗させる
- ほめるときは理由を添える
- 「子どもにも都合がある」と覚えておく
- なんでもかんでも自分のせいにならない
- 「この世界はいいもの」と子どもに伝える

こそだてに向かう気もちが
明るくなるヒントがいっぱい！



高濱が、花まるの教室長をちょっとおちゃめに紹介するこのコーナー！「タカタコ」は、高濱による他己紹介で教室長を深掘りします。2024年度のテーマは、「私の母」。各教室長が実際に自分のお母さんや家族に改めてインタビューした内容を、高濱がまとめました。



サマースクール 川遊びを のぞき見



紀北町エリアは
飛び込みがあるよ!



みんなは川で遊んだことがあるかな？

はじめて川に入ったとき、
水の冷たさにびっくりした。

うちの水道の水よりも、
プールの水よりも冷たいんだ。

これが“自然の水の冷たさ”
なんだって。

夏の太陽に照らされて、
あつくなったからだには、
この冷たい水が最高なんだ。
思わず、「ぶはあ〜！」って言っちゃう。

そんな川には、
生き物や寝そべることができそうな岩、
おもしろい形・きれいな色をした石…。
川の大切な仲間たちがたくさんいる。

「いっしょに遊ぼうよ」って
お出迎えしてくれるよ。

石あそび

石をけずって
おけしよう♪

大きな岩って
あたたかい。
みんなで休憩中。



生き物探し



みつけたあ～!



魚ゲット!!



遊び方は無限大!
川遊び最高～!



川の中はこんな世界



なにがいるかな?

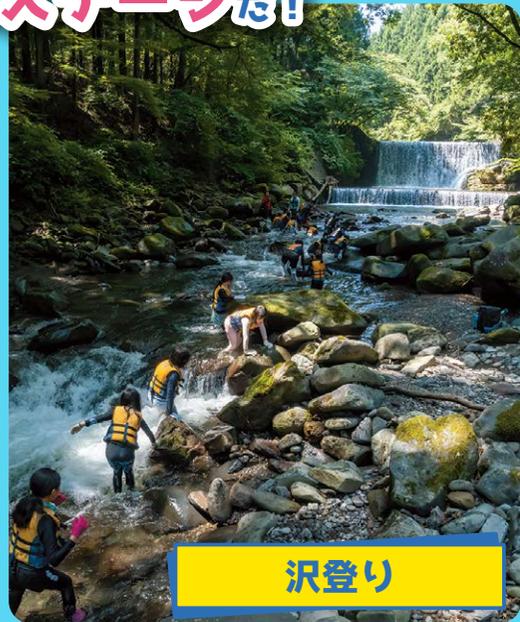
サマースクール
River
探検隊を
のぞき見



小学3年生以上のキミへ
これが川遊びの国の**ネクストステージ**だ!



仲間と声をかけ合い、
手をとり合いながら進む!



沢登り



小学6年生以上だけの特別コース



飛び込み
チャレンジ!



滝修行



私の母は幼稚園児のときに母親（私の祖母）を亡くし、お手伝いさんが母がわりになってずっと育ててくれました。だから「家族の絆」を大事にしたいと思っていたのですが、すぐ帰国と聞いていた夫の単身赴任がスズルズル長引いて、10年以上女手ひとつで子育てをしました。 | 村田寛典・のりばん

今どっしってる？

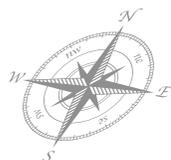
卒業生物語

ようこそ先輩!!



猿田 洋祐さん

【花まる学習会】(小1~4)
*担当教室長：高濱正伸、樋口雅人 ほか
【進路】公立中学校→埼玉県立大宮東高等学校→文教大学
【現在】プロ格闘家/フィットネスジム経営



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第24弾は、第7代修斗世界ストロー級王者・第6代 ONE Championship 世界ストロー級王者の座に輝いた、伝説の教え子にインタビュー!!

れていたのだな、そしていまも変わらないの
だなと感じています。

から「自分は海外で活躍するアスリートに
なつて親の知らない世界を見てみたい」と
思うようになりました。

■花まるの思い出
猿 花まるでは、紙のなぞペーをもらって
解いていたのを覚えています。難しかった
ですが、とても楽しかったです。

■花まるっ子たちへのメッセージ
猿 私にとって花まるは、得意でないこと
や難問に立ち向かいチャレンジ精神を鍛え
てもらった場所でもあります。何事も挑戦・
継続するからこそおもしろさに気づけた
り、成長して視野が広がったりするのだと
思うので、最初から向き不向きを決めつけ
ず、少しでも興味が湧いたらどんどん挑戦
してほしいです。

■花まるの思い出
樋 洋祐は2期生として入会したから、ま
さに創生期のメンバーだよ。その頃の低学
年クラスなのぞペーは、ハイレベルな問題
プリント1枚に挑戦する形式だったね。授
業後に、園庭に出て泥まみれになりなが
ら遊んだりもしたなあ。野外体験のことは覚
えている？

■花まるの思い出
樋 わが子が殴られる姿を見るのはつらい
よなあ。
猿 高校卒業間際に格闘技に出会い、大学
卒業と同時に自衛官になることが決まっ
て一度やめることにしたのですが、卒業直前
に最後の1試合を、と出場したら受け身に
失敗して腕を大怪我し、就職が白紙にな
りました。そのこともあって、両親には格闘
技をよく思ってもらえませんでしたね。で
も私にとっては覚悟が決まったというか、
むしろ格闘技の道に進むきっかけになりま
した。

■お母さんのこと、格闘家への道
樋 お母さんはどんな人ですか？
猿 優しいけれどダメなときにはしっか
り叱ってくれる母です。両親ともに海外
に行つたことがなかったので、中学生の頃

■お母さんのこと、格闘家への道
樋 怪我をしないで自衛官になっていた
ら、いまとはまったく違う人生になってい
たわけだよな。

■お母さんのこと、格闘家への道
猿 サマースクールが印象深いです。一人
で遊ぶのが好きで集団行動はどちらかとい
うと苦手だったのですが、親と離れて友達
と過ごすなかで、不安なことも一緒に乗り
越える仲間がいることの心強さを知りまし
た。

■お母さんのこと、格闘家への道
猿 怪我をしないで自衛官になっていた
ら、いまとはまったく違う人生になってい
たわけだよな。

樋口 教えていた頃から20年以上を経て
「修斗」のWebサイトに洋祐の名前を見
つけたときは本当に驚いたよ。体つきは
まったく違うけれど、あの頃の面影がある
写真を見て間違いはないと思って。当時教室
の会員保護者として子どもを通わせてくれ
ていた教え子に「もしかして、洋祐は格闘
技をやっているの？」とメールを送ったら、
「そうです、いまから試合です」と試合会
場の写真を送ってくれたんだよな。

■お母さんのこと、格闘家への道
猿 自分が代表・メインインストラクター
を務めるジムで樋口先生がトレーニングをす
ることになるなんて、想像もできませんでし
た。毎回全力の姿勢を見せてくださるので、
あの頃もこんなふうに私たちに向き合っ

■お母さんのこと、格闘家への道
猿 自分が代表・メインインストラクター
を務めるジムで樋口先生がトレーニングをす
ることになるなんて、想像もできませんでし
た。毎回全力の姿勢を見せてくださるので、
あの頃もこんなふうに私たちに向き合っ



窮地に追い詰められても絶対に
譲らない心の強さと、人望を集
める人間力の源は…?
続きはこちら！





こんげつ

今月のレインボータイム

【キューブしろくろめいろ】

出題：さかたしょう はな がくしゅうかい
坂田翔 (花まる学習会)

白と黒で塗られた  キューブ を積み上げました。

スタートから「白→黒→白→黒→…」と

隣り合う面(マス)を交互に進み、見えているすべてのキューブを

それぞれ少なくとも1回は通ってゴールまでいきましょう。

一度通ったところは通れません。すべての面(マス)を通る必要はありません。

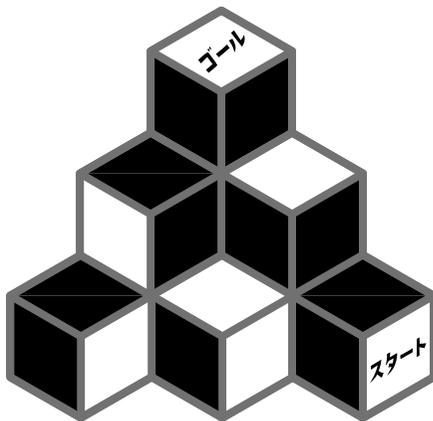


解答はこちら！

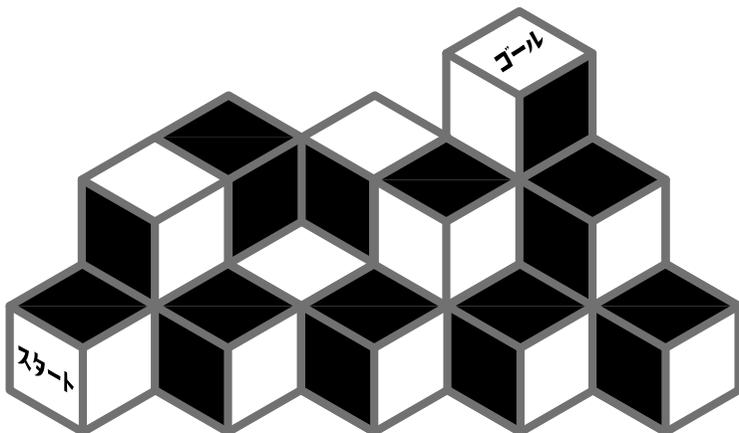
れい



レベル30



レベル70



職人の 無人島

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。みなと港がある安芸津町に新たな拠点もでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

小屋づくり③

北にもつちー、南にきむさん、西にまささん、東に職人。われら鉄パイプ四天王の度重なる微調整の末、ついに4本のパイプがあるべき位置に収まり、ゆがみのない四角が完成した。どの角からもパイプの端は飛び出していない。4つの辺の長さがすべて等しい四角形である。やったぜ。われわれは無人島というワールドこのうえない場所、測量機器が巻き尺だけというワイルドな状況にありながら、鉄パイプ合わせというワイルドな手法を用いて正確な四角を描いた。ワイルドだろう？ これで正確な土台の上に正確な小屋が作れる。いやー大変だったね、なんて感じてお父さんたちと一息つこうとした瞬間、何かいやな予感があった。「家のエアコン消したっけ？」みたいな。「食べちゃったけどお金足りるっけ？」みたいな。「これは本当に真四角なのか？」

な条件を見落としていた。なぜだ？ そもそも、鉄パイプを使うことになったのは助で直角を出そうとする不毛な作業に耐えられなくなったからだ。曖昧な感覚の代わりに、明瞭な基準を使ういい方法だと思って飛びついた。しかし、そのとき解決すべき問題もすり替わったのだ。直角を出すことは、直角を出すことでしか解決しない。

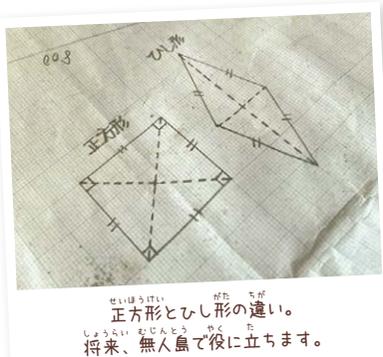
さて、たとえば額縁を組み立てるようなとき、職人たちは各部の直角をどう見極めるのか。答えは対角線である。2つの対角線を測り、同じ長さになれば四隅は直角になる。テーブルでもキャビネットでも、四角い構造を組むときは対角線を見て直角を調整するのだ。これをいまここで応用する。今度こそ勝ったッ！

(つづく)

花まる学習会 橋本 一馬

しかし、一体どうやって直角を出す？ 手持ちの道具は巻き尺だけだ。やはり、プロの木工が使うような測量機器を使って解決するしかないのか？ 「ないではなくあるを見るべし」という無人島の理念に反して、耳元で何かが囁く。「早く買えよ！ このまま直角が出せなくてもいいのかア？」。道具を買えば、島の理念を差し出せば……ほ、本当に直角を出してくれるのか……？ 「理念と引き換えのギブアンドテイクだア！ 買えよ……早く買え！」——だが断る。

おれの名を言ってみろ。おれの名が職人なのは、元家具職人だからだ！ 巻き尺だけで矩(直角)を出す方法を、知らないわけがないだろう!! 「じゃあ何で早くやらないの？」と言われるとそれまでなのだが、いま思い出したのだから仕方ない。もう少しで「レーザー水準器を買いますよ」とか言いそうだった。あつぶねえ。



正方形とひし形の違い。
将来、無人島に役に立ちます。

うーん。たとえば極端な話、巨人が正方形の対角をつまんでつぶしていぎ針のような細長い四角にした場合、形は全然四角じゃない。でも辺の長さはみんな同じで変わっていない。そこでやっとなどついた。これは「ひし形」だ。正方形に見えるが、厳密にはそうとは言い切れない。正方形は、4つの辺と4つの角が等しくなければいけないからだ。基本的に

おれの名を言ってみろ。おれの名が職人なのは、元家具職人だからだ！ 巻き尺だけで矩(直角)を出す方法を、知らないわけがないだろう!! 「じゃあ何で早くやらないの？」と言われるとそれまでなのだが、いま思い出したのだから仕方ない。もう少しで「レーザー水準器を買いますよ」とか言いそうだった。あつぶねえ。

無人島企画や最近の様子を配信中！ぜひ登録してね！

花まる子ども冒険島公式LINE

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会神奈川東北ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のミドルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。広島で2年間無人島開拓に携わったのち、現在は神奈川でキャンプ教室を企画中。





急に画用紙を手に取り、テーブルと壁に挟まれた部屋の隅で何かを描き始めた息子。「あと少しで終わるから!」と夕飯の支度が終わるまでの間に一気に描きあげた作品です。本人のなかでイメージが急に湧きあがったのでしょうか、とても生き生きとした表情で「読んでみて!」と見せてくれました。最初は海に浮かんで遊び、最後はたくさん遊んで疲れてしまって、休んでいると言っていました。浮き輪やサングラスなど、細かいパーツにこだわったそうです。

表紙に「こうせいがつくったえほん」と書いてありますが、矢印で読む方向を示してくれていたり、砂浜を「つち」と表現していたり、6歳のいましかないかわいらしさが詰まった絵本で、読んでいて思わずクスクスと笑顔になり、心が温まりました。



こうせいくん (東京都)

Rinせんせい

海と砂浜の様子。途中から、絵本の上の部分が海での遊び、下の部分は砂浜での遊びと、それぞれ同時並行で物語が進んでいって、こうせいくんが一気に描きあげたことが伝わってきます(よく見ると→があって、読み進める順番も示されていますね)。

海にもぐり、泳ぐ。土で遊んで、土で休む。海のなかのまるで泡のようなシールのコラージュや、砂のお城の横でサングラスをかけ、パラソルの下で休む主人公の様子がユーモアたっぷりです、楽しんで作ったんだなあわかります。本当に「絵」を楽しむ「絵本」になっていて、絵本好きにはたまりませんね。



「あなたは どうしたい?」
自分のころに向き合った
子どもたちの作品展です。



レシビ部門の「スクリブルアート」に挑戦しました! 悩むことなく色を手にとってギザギザ・なみなみ・くるくるで線を引き、できた空間に元気に色を加えていきました。真んなかのオレンジがこだわりポイントだそうです。

Rinせんせい

赤の力強いタッチから、勢よく製作したことがわかりますね。真んなかのオレンジ色を見つめていると、まるで大きなお花が咲いているようにも見えますし、たくさんのぐるぐるに注目すると、宇宙に浮かぶ星たちのようにも、お花畑に咲く花々のようにも感じられます。見る人によってさまざまなものに見える。スクリブルアートのおもしろいところですね。

「ギザギザ・なみなみ・くるくるで作ろう!」というように、自分でお題を作って遊ぶかって、子どもたちにはありますよね。Rinせんせいは、真んなかの、オレンジ色に赤い色が加わっているところ、昔の文字のように見えて好きです。



そらちゃん (神奈川県)

今月のARTレシビ

『折って切って開く』

みんなの
おうちART作品を
待っています!
・レシビ部門
・じゆう部門

Rinせんせいに
おくってみよう!

折り紙、切り紙の動画は
現在全7本あるよ!
たのしんでね!

Rinせんせいが
つくってみました!

「線対称のデザインの美しさ」に気づかせることに「目的」や「ねらい」のようなものを大人は持ちがちですが、そんなことよりも「ここを切つて、それから開いたら一体どうなるんだろう?」というワクワク、好奇心の芽を大切にすることに主要な意味があります。

「もっとこう折ってみよう」「ここも切ってみよう」ただただ思考実験の繰り返しができる楽しさ、その主体的な心の動きに、心を寄せてあげる大人がいたら、幸せですね。

私は、ハサミを持って切るという行為そのものが子どもの頃から大好きです。切り落としたほうの紙も美しい。窓に飾ってみたら、影も美しい形になっていて楽しめますし、何かに貼り付けてみたり、挟んでみたり、クルッと丸めてくっつけてみたりしても楽しいです。

何かに見えなくても、大丈夫。作ったら飾らないといけないこともありません。ただただ紙を切る行為自体に癒されるかもしれません。大人も楽しんで折って切つて開いてみてくださいね。

じゅんびするもの
・ハサミ ・折り紙

こころと頭を同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

57

うまくいかなくても
くじけない

「それを、発想の転換、と言うよ」
正解のない創作の世界にも、葛藤や、思い通りにいかないハプニングは存在します。子どもたちが内なる自分自身との対話をとおして、思い描くイメージを表現する過程で、自然に生まれるものです。

経験値がある大人はとかく「そうやってらううまくいかない」と、未来への予想がついてしまいます。

「多分ひっくり返すから」やめて」

「(一人だと時間がかかから) それ貸して」

「汚れるから」だめ」

「全部用意してから」はいどうぞ」

……と普段の生活でそれが当たり前になっていると、いざ遊びや創作の空間でも、ついつい

つもの調子で、子どもたちの体験や主体性を奪ってしまっている場合があるかもしれません。

彼らの葛藤や「あ、しまった!」「困ったな」という表情は、この世で最も尊い瞬間です。そんなとき、いつも私は笑います。

「おもしろいことになったね。そこからどうしようか?」

「ういよ、試してみようよ」

自由とは、責任が伴うものです。最後まで経験させてあげること。大人が手を出さず、ことによつて、子どもたちの葛藤から生まれる、柔軟に発想して工夫する想像力を、失敗は失敗じゃない、別の何かが生まれる瞬間だと知る体験を、子どもたちに与えることができるのです。

「私には(ま)き(と)できないから、やらな(い)」

と言う子に、「私の接し方が悪かったからだろうか。長女だからと厳しく声かけをしてきてしまったかもしれない」と悩まれるお母さんがいました。子どもは経験値が少ないから、未来の見通しが立ちません。さらに、性格の持つ特性が強く現れる時代。彼女は幼いながらも、自分ができるかどうかを見極めて、慎重になりたい人なのでしょう。それは知性の表れであり、性格なのです。

「尻込みしちゃうあなたたダメ」も、「お母さんが厳しくしすぎたから」も、「こつあうねば」

「ちゃんとできないといけない!」も一度取っ払って、「あなたはそういう人なんだねえ」と丸ごとおもしろがる気持ちで、私なら彼女にお話を聞かだろつなと考えました。

子どもと対峙すると、大人のほうが試されることばかりです。私たちが「自分の価値観」と向き合うために、彼らが何かを見せてくれるかもしれない、と考えるとか別のものが見えてくるかもしれません。

完璧であるうとしないこと。落ち込むのではなく「じゃあどうする?」と気持ちを切り替えられる人のほうが、何倍も人生を楽しむことができますよ。

昔の人は言いました。「かわいい子には旅をさせよ」と。

日常は彼らにとつて、小さな「旅」の連続です。大人のほうも葛藤しながら、子どもたちにはたくさんの「旅」を経験させてあげたいものです。

Rin (井岡由美)

Atelier for KIDs



全国から参加可能!



お申し込みは
こちら

6/16 (日) 10:30 ~ 12:00 風にゆれるファイルdeアート

【対面コース】

対象 年長~中学生
定員 20名 (予定) (お茶の水まるラウンジにて)
参加費 対面1名 3,500円 (税込)
申込締切 5/31 (金) 19:00

<https://www.hanamargroup.jp/art-edu/news.php>

NEW! おうちアトリエコース

6月より「オンラインクラス」が「おうちアトリエコース」に変更となります。

素材セットとおたよりがご自宅に届き、お好きなタイミングで制作をします。

ZoomまたはLINE公式アカウントにて、鑑賞会も行います。

詳しくはHPをご覧ください。

参加費: 1名2,500円 (送料・税込)

申込締切: 5/31 (金) 19:00

「こころと頭を同時に伸ばす A1時代の子育て」
(実務教育出版) より





勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小4・小2・2歳児の母として子育てで奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか

花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

35

経験が「思い込み」になる、落とし穴

3番目、2才5か月の次女。姉、兄のときよりも自分の子育て経験値が上がっているの、これまででこの「ほとほと困り果てた」ということはあまりなく、すくすく成長しています。が、自分に経験があるかゆえに、「思い込み育児」になってしまっていたなあと思っただけがありました。

あまり手がかからないとはいえず、絶賛イヤイヤ期の次女。朝と夜は、歯磨きをいやがって逃げ回ります。長女の2歳児検診のときの「歯は、押さえつけてでも磨きましょう」という指導をもとに、最終的には、ぐつと力で押さえつけて磨いていました。毎回、お互いに「つらい時間……」。

ある日、ふと、「あれ、そういえば、歯磨きの歌ってあったなあ。歌が好きならだし、流してみるか」と思って流してみたところ、いまのところ、効果きめん！「自分で歯ブラシをもってみか〜」と、のりのりでやってくれたのです。

『歯磨き』や『お着替え』のイヤイヤ期には、歌を流してみよう！これは子育てハックとしては王道といえは王道なのに、なぜ、すぐに思いつかなかったのか。それは、わが家の場合なのですが、上の二人のときは、この技が効かなかったからです。何回か試して失敗していたので、「歌は効果なし」と私が思い込んでいただけ、子どもの性格、好みは十人十色なので、フラットな気持ちで早く試してみればよかったなあ。

そして、さらに記憶をたどっていくと、この「歯磨きの歌」は、上の二人に対しても本当に効果がなかったのかな？と、疑いが出てきました。

長女のイヤイヤ期は、まだ子どもが一人だったので私にも多少余裕があり、イヤイヤされても花まるの「渡し方勝負」を駆使しながら、対応していました。歌も

何回かは効果があったけれど、ずつとは効かず、だったら……と、あの手この手を試す余裕がありました。そのうち歌を使うということもなくなったのですが、もしかしたら、毎日ではなく、時々「歌」に頼っていたのかも？

2才下の長男のイヤイヤ期は、まったく余裕がなく、夜はいかにして早く布団に入れるかということばかり考えてしまっていて、「歯磨きの歌を流す」時間すらもつたない！と、私がせかせかしていたような気がします。もしかしたら、歌を流していたら、効果はあったのかもかもしれません。

なんとなく思い込んだ「歯磨きの歌は効果なし」という表面上の経験は、意外と自分のなかに根付いていて、当たり前と感じてしまっていたけれど、対子ども、に当たり前はない。親子であっても、きょうだいであっても、別の人間。また、同じ子であっても、その時々や環境や子どもの成長、などいくつも変化していく要素があるなかで、何を「効果的」といえるのか。それをあてるのは、すごく難しい。

今回は生活面でしたが、今後、学習面でも同じことがいえそうです。（私にはこの学習方法が向かなかったから、わが子にも向かないだろう）（姉にはこれが効果的だったから、弟にもよいはず）といった、「思い込み育児」になっていないか。自分の育児の幅を狭めてしまつことなく、柔軟に、フラットに、試行錯誤を繰り返していきたいなあ、と思っただけでした。

花まる学習会 勝谷里美

試行錯誤（めいろ）を楽しむ



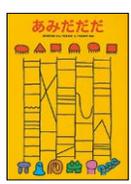
『あたまがよくなるめいろ まなび編』
『あたまがよくなるめいろ あそび編』
高濱正伸 監修
花まる学習会アルゴクラブ 問題作成
(サンマーク出版)

花まるが提唱する思考力のなかのひとつ、「試行錯誤力」を鍛えるための代表的な問題が「めいろ」です。夢中になって楽しむことが集中力を養い、良質な試行錯誤がやり抜く力を養います。



『絵巻えほん 11びきのねこ マラソン大会』
馬場のぼる 作
(こぐま社)

迷路絵本はたくさん出ているので、好きなテキストのものを選ぶのがおすすめですが、こちらは、「迷路そのものにはまだそれほど興味がない」場合でも、絵を見てお話を想像して楽しめるのがポイントです！11びきのねこファンの方もぜひ！



『あみだだだ』
谷川俊太郎 文
元永定正 絵
中辻悦子 構成
(福音館書店)

名作絵本『もこ もこもこ』のコンビによる「あみだくじ」絵本。花まるのなぞべ〜でもあみだくじは大人気です。読んだり、なぞったり、自分でも作ってみたり、可能性が無限に広がります。

私の母は中国人で、私を産んですぐに夫の祖国日本へ。しかし、私が物心ついた頃には日本語が流暢だったの理由を聞くと、「あなたたちが学校で差別されたりしないように猛勉強したのよ」と言いました。私は「やはり、ちゃんと勉強しよう」と誓いました。 | 粟林英一・くりりん


 Yushi
 榊原 悠司
 Sakakibara


二倍ではなく二乗なれど、
二人いれば〇〇に

「何を考えているの？ もうあなたを頼りません。実家の母を頼ります。家にも帰ってこなくていいです。」

これは今年一番グサツときた言葉です。出張から帰る日のこと。同僚とごはんを食べに行くことになり、了承を得るため恐る恐る妻へ連絡。そのときは「いいよ、行っておいで！」と言ってもらえたので足取り軽くお店へ。楽しい時間を過ごしている、冒頭のメッセージが届きました。実はその前に「子どもが高熱を出して大変だ」という連絡が来ていたのですが、それに気づかず……。「うわ、また」やってしまった……と一気に酔いが醒め、とりあえず連絡をしようと思いました。が過去の経験からいまは何を言っても駄

目だと思い、その晩はホテルに泊まりました。また「という通り、過去にも何か似たことがありました。「私たちを大事にしない。気持ちを整理するため一度実家へ帰ります」と言って、生後半年の子どもを連れて実家へ帰るなれど。」

いま思えば、そのときの私は子育てのリアルをまったくわかっていませんでした。そこに触れられたのは、二人目の出産を間近に控えたとき。妻が一週間入院することになり、その間は一歳半の娘と私の二人生活。現実を知らない私は楽しみにその日を迎えました。一緒に遊び、ごはんを作って食べさせ、お風呂に入れて歯を磨き寝かしつけと、初日は問題なく終了。しかし、二日目から洗礼を受けはじめます。食べ物で遊び一向に食べたくない、着替えさせようと服を脱がすと裸のまま脱走。歯を磨こうとすれば口を固く結び、もう寝る時間というときにおもちゃを引つ張り出す等々。そこに少なからず苛立ちを覚え、ふと考えてみました。

この時間は機嫌がいいから一人で遊ばせ、その間に掃除をして洗濯をしたい。○時までには寝かせたいから、ごはんを作って○時までに食べさせ、お風呂に入る。子どもが寝たら、自分のごはんを

済ませ、残りの家事や仕事を片付けたい。こうした算段を立てていたら気づきます。同時にそれが多少なりとも崩れると、心がざわつくことを自覚しました。「じゃあもう食べなくていい」という言葉が喉まで出ること。いままでこのようなことはなかったのに。

ここで「あ……」と気づきました。この苛立ちは、崩れた算段もろとも自分で請け負うのか、という思いからきているのだと。そしていままでそう感じたことがなかったのは、私が子どもと家にいるときは基本的に妻もいるからだ。

妻はこれと日々一人で向き合っているのか、そんな反省を胸にしまい、出産の立ち合いをしていました。お世話になっている方々へ無事に生まれた旨を報告していると、恩師からすぐにこのような言葉をLINEで頂きました。

「子どもが二人になると大変さは二倍じゃないぞ。二乗だからな。たくさん家事をするんだぞ」

無意識のうちに携帯に向かって「はい」と言って頭を下げていました。確かに、二人になったときの子ども同士の化学反応、エネルギーは二倍ではなく二乗。大人からすれば、二乗になったエネルギーを受け止めるのは大変と言えるかもしれませ

ん。早速それを感じました。四六時中泣く下の子を抱っこして「やっと寝てくれた！」と布団に置くと、上の子が近寄ってきて「あー！」と言って叩く。そうすると下の子がまた泣き叫び、さらにそれを受けて上の子も機嫌が怪しくなる……。思わず妻と顔を見合わせてしまいました。が、少し間があったあとに互いが笑って見えたよつな気がしました。

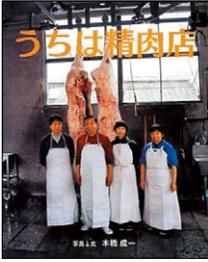
その数日後。下の子がオムツから漏れるほどにうんちをしました。お尻を拭いて、オムツを代えているとおかわりのうんちが……。さらにごはんを食べている際中だった上の子が興味津々とばかりに覗きにきて騒ぎ、てんやわんや。しかし、妻と二人で「わあ、いっぱい出たね！」と笑って事にあたります。が、妻は「これを一人のときにやられたら絶望感しかないわ」とも。

子どもが二人になり大変さは二乗になるも、大人が二人いれば大変さは「笑い」に。妻を一人にしないように、そう思って今日も早く帰ります。幸せも二乗になるように。

花まる学習会 榊原悠司



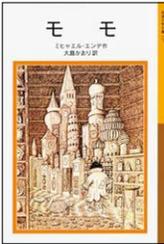
～「はたらくこと」の向こうに～



『うちが精肉店』
 本橋成一 写真・文
 (農山漁村文化協会)

大阪府貝塚市にある北出精肉店。江戸時代から7代にわたって牛の肥育、屠畜、精肉を営んできたこの家族経営

の精肉店の、最後の仕事となった2012年の屠畜を写した写真絵本。食べること、働くこと、生きること——。写真家、映画監督としても活躍する著者によるモノクローム写真の数々が、さまざまなメッセージを投げかけます。



『モモ』
 ミヒヤエル・エンデ 作
 大島かおり 訳
 (岩波書店)

相手の本心を聞き出す不思議な力をもった少女モモ。突然現れた、人々から時間を盗む時間貯蓄銀行の「灰色の男たち」から人々

を救うべく、モモは戦いを始めますが……。さまざまな深遠なメッセージにあふれたロングセラー・ファンタジー。一般的には「時間の大切さ」を語る物語として知られていますが、実は作者のエンデ自身は「現代社会の資本主義、経済的問題を意識して書いた」とも語っています。自分の時間について、自分の生きている世界について、ひととき思いをはせてみませんか？



『霧のむこうのふしぎな町』
 柏葉幸子 作
 杉田比呂美 絵
 (講談社)

ジブリ映画『千と千尋の神隠し』のモデルにもなった、日本発のファンタジー作品。旅の途中で、魔法使いの子孫である人々が暮らす「霧の谷」へと迷いこん

だ小学6年生のリナ。下宿させてくれたピコットばあさんは、「働かざる者食うべからず」と、リナに働くように命じます。見知らぬ町で初めて働くことを経験するリナの、ひと夏の物語。「子どものときにこの本を読まないで後悔するぞ!」とは、解説を担当した翻訳家の金原瑞人氏の言葉。



『しごとば (しごとばシリーズ)』
 鈴木のりたけ 作
 (ブロンズ新社)

新幹線運転士やすし職人、パティシエ、自動車整備士……。街のなかで働くさまざま

な職業の人たちの「しごとば」を描いたシリーズの一作目。9つの職業が詳細に紹介されていて、見るたびに新たな発見があります。前のページで出てきた人がほかのページにも登場するなど遊び心も満載。シリーズ第4巻は、NHK『新プロジェクトX』でも話題となった東京スカイツリーがテーマです。



『ルリユールおじさん』
 いせひでこ 作
 (講談社)

大切にしていた植物の本がばらばらになってしまったソフィー

は、パリの路地裏にひっそりとたたずむ「ルリユールおじさん」のお店で修理してもらいます。手作りの製本である「ルリユール」の工程、登場人物の魅力的なやり取り、今年のオリンピックの舞台でもある美しいパリの情景描写が印象に残る、大人にも人気の高い絵本。ひととき、おだやかな時間が流れる異国の路地裏を歩く気分を味わってください。



6月 (第3回) 『本×世界遺産 ～開催! プレゼンバトル「勝手にシン・世界遺産」～』

日本、世界にはまだまだこんなにおもしろい場所があるんです! まだ世界遺産に登録されていなくても、自信を持って「価値あるもの」としておすすめできる場所や無形文化財の数々を名づけて「シン・世界遺産」を、プレゼンバトル形式で紹介! 社会科教育のプロフェッショナルとの直接対決を、乞うご期待!

6/13 (木)・6/15 (土) 10:30～12:00
 参加費 一家族 500円 (税込)
 申込締切 開催前日の19:00

<https://www.schoolf.jp/extension/j-hiranuma/2024/>





山岸 亮太
やまがし りょうた

花まる くらぶ

「やる」と「やらない」のあいだ

今年の夏、いかがお過ごでしたでしょうか？ 嬉しかったこと、悲しかったこと……どんな経験も、豊かな子ども時代の一部になっていくものだと思います。そんな心動く夏休みを過ごしてきたのだな……と久しぶりに会う子どもたちの笑顔をみて感じました。

私の夏休みはなんといってもサマースクール。夏の暑さ……以上に心が熱くなる。そんな日々の連続でした。

「うわ〜!!」と声が上がるのは「魚ざばき」の時間。まずはレクチャーからスタート。魚のおなかに包丁がブスツと入る瞬間、目をぎゅつとつぶる子もいます。ズブズブと刃を進めていき、お腹をひらいたら内臓を手で取り出し、よく洗います（その後、お宿の方が焼いて夕食に出してくれます）。

子どもたちが自分の手でさばく時間が

やってきました。2年生のSくんは包丁を持ち固まってしまいました。草原遊びでは大はしゃぎで野原を走り回っていたSくんでしたが、包丁を持ったその背中がキョつと小さく丸まっていた。

ほかの子が挑戦していくなか、動けなくなってしまったSくん。手を添えて、一緒に魚ざばきを「経験させてあげる」とは簡単です。しかしここは親元を離れ、生きる力を、たくましい心を育むサマースクールの場。少し時間をとって彼と話をしました。

「さばくの、怖いよな。血を見ると、痛そうに思えるよな。でもね、この魚はS以外だれも、なにもできない。どうしてできないならそれでもいいんだ。そのまま捨ててしまおう。せつかくの命、ちゃんと食べようと思うなら、Sの手でやるしかないんだ。リーダーはどっちにしてもいいと思う。S、少し悩んでいいよ」と。そのまま1分ほど固まったままのSくん。どんな決断をしようか、「自分で決めるしかない」と逃げずに、自分の気持ちに向き合っているこの時間こそ価値があると思ひ、待ちました。

なかなか決断できないSくん。「無理してやる必要もないんだよ」と、どれだけ優しく伝えても決して包丁を離しません。そのときの表情を見て感じました。Sくんはあのとき、「やる」か「やらないか」

で悩んでいたのではなかったのでしょうか。心では「やる」と決めていた。でも体がなかなか動いてくれなかった。「やる」と決めても、「やる」までには、少し時間が必要だったのでしょうか。

さらに数分後、ついにSくんが手を動かして始めました。最初はゆっくり、でも慣れてくると手際よく包丁を進めます。ついにひとりでもやりきりました。内臓を取って、丁寧に洗って、そうして魚ざばきの時間は終わったのです。

それからは、何度も魚ざばきの思い出話が彼の口から出てきました。そして、最終日。私からは「痛そうだから……」と手が止まっていたね。でもそれはSに勇気がなかったからじゃない。Sがどこまでも優しいからだ、あのとき思ったよ。そう伝え、お別れをしました。

「やる」か「やらない」か、で選択を迫られる。子どもだけでなく大人にだってよくあることです。でも実は「やる」と「やらない」には、その間、があるのでしよう。「やる」と決めた、でも「やる」にはもう少し時間がかかる。「やらない」わけではない、でもまだやれない。時間がほしい。そんな瞬間です。

そんな自分の心と向き合う貴重な時間を大事にしてほしい。大事にしてあげられる大人でいたい。そんな気持ちに出合った夏でした。



サブスク型オンライン教室から

国内・海外宿泊企画まで



花まる×海外の学び場
ソトシルクラス

◀詳細は右記公式LINEよりご確認ください。

花まる学習会 山岸亮太

あのときSくんを説得して、私の手をSくんの手に添えて、一緒にやってあげることが簡単でした。でもSくんがこれから先「やる」と「やらない」の間に立つたとき、自分で一歩を踏み出せる人になってほしかったから、あえて見守ることを選びました。自分の心と向き合うためには、「ひとり」で頑張る瞬間と「信じて待つてくれる人」が必要なのでしょう。自分で心の壁を乗り越えていく「心の冒険」ともいえる時間ですね。

そんな心の冒険を、普段の教室でも大切に。どんな壁を前にしても「あなたなら頑張れる」と信じ、待つ。そんな場所であられるよう力を尽くします。





花まるの
教室長を
紹介します!

Hanamaru Family 花まるファミリー

🌐...オンライン 🍷アルコ...アルコクラブ 🍷...みんなビレッジ 🏝️...無人島 ⚽FC...スクールFC 🌻Flos...フロス 🎵...アナノ音楽教室

きんごうしつちやう じやうじん しやうかい せい みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



相澤 めぐみ
埼玉 埼玉県



岩田 佳恵
東京東 東京南 滋賀県



白杵 遥志
千葉 福岡県



浦岡 翠
神奈川南 高知県



大鷹 翔
神奈川南 愛知県



久慈 菜津紀
東京東 岩手県



榊原 悠司
東京東 愛知県



須永 修平
埼玉 アルコ 群馬県



館岡 聡美
東京東 秋田県



田中 涼子
埼玉 埼玉県



花岡 宏哉
埼玉 FC 埼玉県



石田 優羽
東京南 埼玉県



吉田 いつむ
関西 三重県



高濱 正伸 リーダーネーム
..... 名前
..... 所属
..... 出身地
○○○ 熊本県

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

5月の誕生花は **すずらん**



私の母は、自分のことは二の次で、小さいときは親のため、結婚したら夫のため、出産した子どものために生きてきました。就職も、親が望むから銀行にしたのですが、ただ一つ結婚相手だけは、路上ライブで一目惚れした青年で、親に猛反対されたそうです。 | 井上笑里・サイン